

国際児童画展（52年継続）



「第52回高崎ユネスコ国際児童画展」が、令和6年10月18日～23日高崎市民シティギャラリーにて今年も無事に開催されました。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことに伴い来場者への検温や健康調査票への記入は求めず、会場入り口に手指消毒の用意をしての開催となりました。

コロナ禍で抑えていた出品数もコロナ前に戻し学級数としました。

その結果、小学校からは839点、中学校・特別支援学校からは366点、合計1205点が出品されました。

17日に搬入と図工・美術主任会の先生方によって搬入と審査が行われました。

入賞者は、94名（小学生62名、中学・特別支援学校生32名）でした。



高崎ユネスコ協会長賞に選ばれた作品

小学校の部：

高崎私立金古小6年 森下楓子

「海をいっしょに」



中学校・特別支援学校の部：

高崎市立寺尾中3年 鈴木莉央

「自画像」



今年、19、20日がマーチング・フェスティバルにあたり、たくさんの親子連れが来場されました。高崎医療短大付属保育園や若葉保育園から園児の来訪もありました。



6日間の総入場者数は4,513名でした。また同時に受付で行った募金に能登半島募金61,512円、寺子屋募金10,281円合計71,793円のご協力を頂きました。能登半島野被害に対する皆様のお気持ちをたくさんいただきました。日ユ協連を通じ能登半島の災害子ども教育支援として寄付させていただきます。また、書きそんじハガキ回収BOXに266枚のハガキを入れていただきました。3月の回収ハガキと一緒に集計・寄付いたします。ご協力大変ありがとうございました。

様々な海外からの作品を展示

今年度は、次の国々の作品をを展示することができました。

- ①東京目黒ユネスコ協会を通じ、アフリカのトーゴ共和国から7点
- ②JICAを通じ、モンゴル国3点、トンガ王国4点、アフリカのザンビア共和国4点、エチオピア連邦民主共和国2点
- ?三菱アジア子ども絵日記フェスタを通じ、パネル4枚



ユースの活躍

今年度から6名の学生会員が当ユ協ユース部に入会しました。彼/彼女らを中心としたボランティアスタッフが受付に協力し大活躍でした。

